

アベレージゴルファー向けに『D1』ボールに合うパターを開発

『SAKATA LAB』 パター 2024年3月22日(金)発売

株式会社本間ゴルフ(本社：東京都港区／CEO 小川典利大)は、約3年ぶりとなる新製品パター『SAKATA LAB』を、2024年3月22日(金)より全国のHONMA直営店および製品取扱店にて発売いたします。

この『SAKATA LAB』パターは、アベレージゴルファーに好評いただいている『D1』ボールユーザーをターゲットに開発しました。ディスタンス系のボールでもソフトな打感で距離感が出やすく、イメージどおりのタッチを生むことができる、HONMA独自のフェースインサート（TPUインサート）を採用しております。

スコアの約40%を占めるパターの攻略は、アベレージゴルファーにとってスコアアップへの近道とも言えるでしょう。



SL-001

*レフティ有



SL-002



SL-003



SL-005

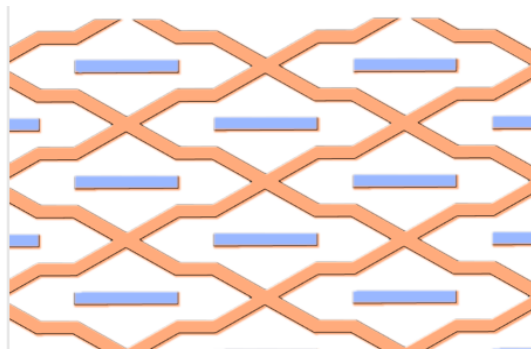
オリジナルTPUインサート

ディスタンス系のボールでもソフトな打感で距離感が出しやすく、イメージ通りのタッチを生むHONMA独自のインサートを採用しました。



打感・打音と転がり・直進性を両立したスリット

オレンジで示したスリットが心地よい打感と打音を実現し、青で示した平行のスリットがボールのディンプルに噛み合い、転がりと直進性をよくします。



MIM製法

新製法が複雑なヘッド構造を 単一素材で成形することを可能にしました。これにより、打点ブレのミスヒットでも高い直進性を生む高慣性モーメントの大型ヘッドをラインアップしました。さらに、表面仕上げの精密さや美しさは、MADE IN SAKATAならではの高いレベルを実現しています。

スイングタイプによって選べるヘッド

ストロークが安定しないアベレージゴルファーに最適な形状を厳選しました。

ブレード型 (SL-001)

支点を中心に円弧を描き打つ、アークタイプに最適な形状です。コントロールしやすく、フェースを感じながら打つことができます。

※レフティ有



マレット型 (SL-002)

セミアークタイプに最適な形状です。

コントロールしやすく、ブレードに比べ寛容性が高いのが特徴です。



ツノ型・ネオマレット型

(SL-003 / SL-005)

真っすぐ引いて真っすぐ打つ
ストレートタイプに最適な形状です。慣性モーメントが高くオートマチックに打てます。
また、スクエアに構えやすく、方向性が出しやすいのが特徴です。



スペック

モデル		SL-001 SL-001 LEFTY	SL-002	SL-003	SL-005
シャフト		オリジナルスチール			
ヘッド素材/製法		SUS304ボディ/MIM（金属粉末射出成型）+TPUフェース			
ヘッド仕上げ		ブラックIP			
ロフト角(°)		3.0			
ライ角(°)		70.0			
総重量(g)	34インチ	約529	約534	約535	約535
	33インチ	約528	約533	約534	約534

※すべて日本製

価格

30,800円（税込）